

事務事業名	公共交通サポーター制度事業				担当	総合政策部 総合政策課 交通政策係		
政策名	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 R3 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
施策名	4	公共交通ネットワークの整備						
関連個別計画					事業期間			
法令根拠	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律							
予算科目	1.一般会計	2.総務費	1.総務管理費	7.企画費				
予算科目								
事業概要	地域公共交通の安定的な運行や、市民の公共交通への意識を醸成するため令和3年4月1日から本制度を導入した。 1.個人会員 協賛金…1口5,000円(中学生以下3,000円) 特典…(1)いちごタクシー回数券1組またはいちごバス回数券3組進呈 (2)いちごバスの運賃無料券発行(土日祝日限定、有効期限は1口につき3か月) 2.法人会員 協賛金…1口10,000円 特典…(1)市HP、いちごタクシー及びいちごバス車内に協賛法人として掲載 (2)いちごバス車内に広告の掲載(1口につき3か月とし連続して最大12か月まで、広告枠は最大4枠(B3サイズ 縦364mm×横515mm))							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)		④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
5年度実績 ・市HP、WNもおか、工業団地管理協会総会での説明 6年度計画 ・引き続き市HP、広報紙、動画広告などを活用して広報活動を行う。 ・個人及び法人へ個別に協賛をお願いする。 ・法人の協賛について、協賛を柔軟に受け入れられる方策(年額1万円など)を検討する。		名称	単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(見込)
		ア:市広報媒体へ掲載			4	4	2	4
		イ:市以外の広報媒体への掲載			0	1	0	0
		ウ						
		エ						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
真岡市民及び公共交通利用者		名称	単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(見込)
		ア:真岡市民			78,592	77,635	77,578	76,972
		イ:市内法人			2,038	1,972	1,999	2,000
		ウ						
		エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
公共交通に対する意識の醸成を図り、興味関心を持ってもらい、公共交通機関の利用増につなげる。		名称	単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(見込)
		ア:個人会員申込口数			4	19	15	10
		イ:法人会員申込口数			8	1	0	5
		ウ:いちごタクシー利用者数(延べ)			13,683	13,523	15,269	18,565
		エ:いちごバス利用者数(延べ)			36,372	44,154	53,124	55,501

(2) 総事業費の推移		単位	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	121	59	45
事業費計(A)		千円	0	121	59	45	102

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公共交通ネットワークの整備に結び付いている。収入の確保及び市民の意識の醸成は、公共交通の安定的な運行を行うために必要である。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 公共交通の整備は市民生活やまちづくりに不可欠であるため、市が行う事業であり、市民の利用促進や市民の意識の醸成においても市が担う業務である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) ・サポーターの条件はないが、サポーターに対する特典はいちごタクシー及びいちごバス利用に関するものであるため、市内公共交通の利用者全般や市内に事務所がある法人を想定している。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) ・本制度は令和3年度に始まったばかりであり、認知度が低いと思われるため、広く周知することや様々な機会にPRを行う事でサポーターを増やす余地がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統廃合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携ができる(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業と統廃合・連携できない(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 制度の認知度を上げるために、必要な最小の経費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 ・周知不足を改善するため、市HP、広報紙、動画広告などへの周知掲載を具体的に計画し、周知を図る。 ・いちごタクシー目的地やいちごバス停留所となっている施設などへ周知し、協賛を働きかける。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							